

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人 同仁会	事業所名	阪井カルフル・ド・ルポ
所在地	(〒 642 - 0024) 海南市阪井 1770 番地 1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

看護小規模多機能の特徴として、その人の暮らしに合わせた臨機応変な対応を心掛ける
 利用者の心身がどのような状態であっても、その人らしい生活を維持できるよう支援している
 常に利用者が笑顔で過ごせる雰囲気づくりをする

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 2/11 ~ 2/24	従業者等自己評価 実施人数	(21) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 5 月 27 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (4 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (___ 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を明確化し一人ひとりが内容を理解する ・具体的な行動に反映させ維持していく意識を持つ為に研修・勉強会をしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体に浸透しやすいよう理念の表現を簡易化した【安心】 ・実施サービスに反映させる為にケース会議や個人の研修の機会を増やした 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念について把握する職員が増加した ・実施サービスについて職員からのケース情報を基に介護支援専門員に情報を提供する事ができた ・外部研修等についてはコロナの為参加できる研修が少なかった ・内部研修についてはWebを利用し研修の機会を確保した 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の前年度の個別目標に基づき本年度の課題を聞き取りした上で、技能レベルの向上が出来るよう評価指針を作成する ・看護師を中心に利用者様、職員共に参加できる勉強会を行う 	<p>前年度の個別目標に基づき本年度の課題を聞き取りした上で、面談を行い技能レベル向上の為に必要な研修や勉強会参加などの機会を提案した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師による職員に対しての研修、勉強会を開催した <p>追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員に受け持ち担当をつけ、受け持ちの方の担当者会議に参加し情報交換を行う事ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・中止になる外部研修が多く参加が出来なかった ・現在関わっている利用者の疾患や病状など身近な内容で分かりやすく勉強になった

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>・引き続き利用者様の受診などに介護士も付き添い、他機関・多職種と関りを持つ会議などにも積極的に参加していく</p>	<p>・訪問サービスとして受診の付き添いに介護士が同行する機会を設けた</p>	<p>・受診に同行する事によりDrや多職種との関わりを深める事ができた ・サービス担当者会議でも介護職員に参加してもらう事ができた</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>事業所の特性について知って頂けるよう地域向けのサービス説明や介護教室を開催するよう検討していく</p>	<p>・地域の方から意見を頂き企画を行った</p>	<p>・新型コロナウイルスにより開催までには至らなかった</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>		<p>・介護計画の目標を具体化し職員が報告しやすいように検討する</p> <p>・療養生活、看取りについて安心して利用できると声をたくさん頂けたので、引き続き利用者様一人ひとりの過ごし方、最期の迎え方について向き合うよう心がける</p>	<p>・目標を具体化し、担当者会議でケアマネジャーから分かりやすく説明をした</p> <p>・リビングウィルの作成など、家族、本人に聞き取りし情報交換をしながら向き合わせて頂いた</p>	<p>・計画、目標についての意識付けや勉強会の機会が作れず全員が把握する事が出来なかった</p> <p>・入居されている利用者については面会制限が出来てしまった為、家族と会えず不安を抱く方もいたが、WEB面会の活用、状態や過ごし方など様子を写真や連絡でお伝えさせて頂く事で軽減する事が出来た</p>

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体に浸透しやすいよう理念の表現を簡易化することにより、把握する職員が増えた ・サービスに反映させる為に担当者会議やケース会議の場を設け、ケアマネジャーに相談していくことができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のマニュアル化、利用者情報の更新など基盤整理を行う事で情報提供、共有がスムーズかつ確実に出来る環境にする ・就業時間内に業務が終了する体制づくりを行う
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別目標立案、面談を行ったが育成計画作成までは至らなかった ・目標に合った研修など提案したが新型コロナウイルスの為中止となり参加出来なかった。部署内で看護師による職員に対しての研修、勉強会の場を設けた 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加可能な研修に積極的に参加しスキルアップを図る ・引き続き受け持ち担当が利用者の情報収集を行い、専門的な知識をつけ、看護職 介護職協働による一体的なサービス提供が出来るようにする
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問サービスとして受診の付き添いに介護士が同行する機会を設けた ・状態を Dr.に伝える為に、より多くの情報を拾い上げ報告する事が出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が使われているサービスに関わる多職種の方と情報交換、共有、指導頂ける環境を作り生活へ取り入れていく
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方から意見を頂き、企画や提案を行ったが新型コロナウイルスにより実施までには至らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業所の特性について知って頂けるよう地域向けのサービス説明や介護教室を開催するよう検討していく
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者目標を具体化し、担当者会議やケース会議でのケアマネジャーからの説明により、職員に計画ケアプランへの理解が得られ報告出来た ・リビングウィルの作成など、家族本人に聞き取りし情報交換を行いながら向き合う事が出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の目標や計画について理解し、維持向上に向けた実施、報告が出来るように利用者一人ひとりをより深く知り個別支援を行う ・職員全員が利用者、家族と関わりが出来るよう考える

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>個人目標を立案し、目標に沿った研修の組み立ては行っているが、育成計画作成までには至っていない</u> 					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>外部研修など機会を確保出来ている</u> ・<u>本年度コロナウイルスにより研修中止が多く、来年度に再度参加の機会を設ける予定</u> 					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情		○			情報共有出来ているが行き届かないとはどういう事か	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <u>・申し送り、カンファレンスを行い情報共有出来ているが行き届かない部分もあり、方法を見直す必要がある</u>				⇒申し送りノート・日々の記録など見るものが多く、共有は出来ているが抜けていることがある。 確認書類を極力減らし抜けないようにしていく	✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			○		特になし	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <u>・月1回の改善会議などで報告はしているが、把握しきれていない所がある</u> <u>・全員に浸透する様に方法を検討</u>					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努			○		内容は改善しているように見えるが、自己評価が「あま	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	めている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ <u>人員不足の為、時間外での勤務で負担もあつたが、入社により業務体制改善できている</u> ・ <u>ストレスチェックや理事長による定期的な腰痛検査、定期健診などあり働く環境は良い</u>				り出来ていない」とあるのはなぜか ⇒前向きな意見が多数あつたが4段階表示に関しては「あまりできていない」が多数であつた	ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			情報共有出来ているが行き届かないとはどういう事か ⇒申し送りノート・日々の記録など見るものが多く、共有は出来ているが抜けていることがある。 確認書類を極力減らし抜けがないようにしていく	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者		○			特になし	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている						の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			マニュアルは誰が見ても分かるようにしておいて下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間共に申し送りにて情報共有しアセスメントが行われている ・本年度は家族との関りが難しかった為、来年度の課題である 					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・両職種間で共有されている 					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	標の達成に向けた計画が作成されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <u>家族、利用者の考えを聞き取り達成に向けた計画が作成されている</u>					利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえ		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	た計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・疾患や現状から考えられる状況変化や 今後の予測とリスクについて計画にあげ られている					評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護にお いては、特に看護職による予後予 測などを踏まえて計画を作成する ことが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続 的なアセスメントにより、利 用者等の状況変化を早期に 把握し、計画への適宜反映が 行われている		○			特になし	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜 反映」の2つの視点から、充足度 を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に 偏らないよう、適時適切に利			○		特になし	✓ 「訪問による、家族等を含めた居 宅での生活状況の変化の継続的な

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	[具体的な状況・取組内容] <u>・訪問は定期的に行い、利用が偏らないように調整しているが居宅での生活状況の変化については把握しきれていない為、家族からの聞き取りも含め深めていく必要がある</u>					把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			特になし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ		○			特になし	✓ 「介護職と看護職の専門性を活か

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が行 われている						した役割分担」について、充足度 を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護で は、効果的・効率的なサービス提 供のために、各々の専門性を活か した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこと が重要です
20	○ 利用者等の状況について、介 護職と看護職が互いに情報 を共有し対応策を検討する など、両職種間の連携が行わ れている		○			特になし	✓ 「介護職と看護職の情報共有およ び対応策の検討」について、充足 度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・		○			特になし	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケース会議、研修などを通じて感染予防や実践訓練など行っている					いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・随時説明をしている為理解を得ていると思われる					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向け		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て留意すべき点等について、 分かりやすく説明し、利用者 等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 常に関係共有を利用者、家族と行い理解 頂けている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や 医療機器の取り扱い方法、家 族等が行うケアの提供方法 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本人家族の希望に沿って行われている					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族等）		○			特になし	✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <u>急な宿泊、受診の同行など本人家族の希望、意向を聞きサービスに反映している</u>					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			特になし	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <u>・管理者、ケアマネジャーが聞き取りを行っていたが、職員は相談・共有する機会が無かった</u>					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らっ		○				✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <u>・家族や本人の意向をリビングウィルに記録として残している</u> <u>・全員の意向を聞き取り出来るよう勧めている</u>				<u>去年は良くできているに○があったが、今年は一つ下がっているのはなぜか</u> <u>⇒職員の入れ替わりにより終末期ケアを目にした者が少なかった為</u> <u>ターミナル研修などで勉強する機会もつくっていく</u>	点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			特になし	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・緊急時の対応方針を共有し、看護師が都度状況報告しながら指示をもらうようにしている</p>					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・かかりつけ医が決められているが休日、夜間等連絡の取れない主治医もあり</p> <p>・看護師がオンコール体制にて待機し急変時即座に対応している</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている				○	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<p>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</p> <p>① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供</p>							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <u>・日中看護師が行い、夜間は吸引を出来る資格を有する介護士がおらず、必要に応じてオンコールにて対応している</u>					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	<p>現在、日中も受け入れはして いないですか ⇒<u>現在おられません</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <u>・夜間、看護師不在の為現在受け入れていない</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	○				<u>特になし</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政 が介護保険事業計画等で掲 げている、地域包括ケアシ ステムの構築方針や計画の 内容等について理解してい る			○		<u>特になし</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解するこ とが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などが無い場合は、「全くで きていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			現在、外部の方は何名ですか ⇒8名 次回から人数も記載させていただきます	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている				○	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている				○	<u>市内ではあまり見受けられない良い取り組みだと思えます</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p><u>・家族等や近隣住民の方に対し介護保険や介護についての説明会を計画していたが、本年度新型コロナウイルスにより集まれない為実施出来ていない</u></p> <p><u>今後企画予定</u></p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容] <u>・達成出来ている方と出来ていない方がおられるが、ケース会議にて情報交換を行いながら達成に向けている</u></p>	特になし	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容] <u>・都度本人家族に報告相談を行いながら、希望要望に沿った形で行っている</u></p>	特になし	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>③. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>④. 利用者の1/3には満たない</p> <p>⑤. 看取りの希望者はいない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・「最近食欲が出てきた」「表情が和らいできた」など、維持向上が見られ家族への報告も随時行い喜んで頂けている</p>	特になし	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>